#### 今和2年度

マヤルトゴ	一反										
事務事	業評価	<u>シート</u>		【事後評価】							
会計	款	項	目	事業コード			}	事業名			
01	10	05	01	104380	<b>-</b> 人顕彰推進導	事業費					
総合計画	分野	03 人	べくり	政策 0	)5 芸術文化	の振興					
計画	施策	02	人の顕	彰							
目的	花巻ゆ	かりの先	人紹介								
対象	市民、	観光客									
意図		民が地域の歴史や文化に触れることにより、郷土に誇りと愛着を持つようになる。 光客は、花巻の先人を理解することにより再訪への足がかりとなる。 共同企画展 3,010千円									
事業概要	令企萬市 先ま	2年12月 展開 展 田 開 記 記 登 で で で で で で で で で で で で で で で で で	5日から 55館 3美術館、 ジ施 リー 大迫、	・円 令和3年1月24日に開 花巻新渡戸記念館 て花巻ゆかりの先人 展 6千円 石鳥谷、東和図書館 埋もれている花巻の	、博物館、総 について同時 で開催	期に企画	画展を行	ター、高村 <sub>す</sub> う。	光太郎記念館	)	
市民参河有無											
市民協信	動の形態	共	崔 実	<b>『行委員会・協議会</b>	事業協力		後担	爰・協賛	補助・助反	支 委託	
			活動	指標		単位	区分	H31	R02	R03	

市	民協働の形態 共催		実行委員会・協議会	事業協	力・協定	後担	爰・協賛	補助・助反	委託 委託
		活	動指標		単位	区分	H31	R02	R03
	共同企画展の開催館数	ζ			\$ <del>-</del>	計画	5.0	5.00	
1					館	実績	5.0	5.00	
2						計画			
Ľ						実績			
3						計画			
3						実績			
		成	果指標		単位	区分	H31	R02	R03
1	共同企画展入場者数					目標	5,000.0	5,000.00	
Ľ						実績	3,239.0	0 1,737.00	
2			_			目標			
Ľ						実績			
_				目標					
3						実績			
	成果指標の達成度 目標値より高い					標値ど	おり	目標値よ	はい低い

# 成果指標の達成度の要因分析(成果指標を設定しない場合は、その理由を記載) 共同企画展の開催館数は昨年度と同数で実施できたが、コロナウイルスの影響もあり、来館者数は減少した。 企画展の内容としては、アンケート結果から来館者の満足度も高かった。 目公共関与の妥当性 市内各施設の企画展の開催時期を合わせることにより、来館者へのサービ スを図るもので公共関与は妥当である。先人の偉業を通じ市民へ郷土への 妥当である 誇りを醸成することは市として妥当である。 見直し余地がある 悝 妥当でない |知られていない先人は多く、市民へ広く紹介する機会を設ける。企画展の 成果の向上余地 内容について連携することにより、市民をはじめ、より多くの来館者が訪 向上余地がある 問しやすくなる。 向上余地がない 職員の直営で行えるものは対応するなど、最低限のコストを考慮している 事業費・人件費の削減余地 、簡易な事務については、非常勤職員で対応しているが専門知識を要する 事業費の削減余地がある 業務が多いのでこれ以上の削減はできない。 人件費の削減余地がある どちらも削減余地がない 受益と負担の適正化余地 入館料を徴収し、受益者負担としており公平である。 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある 適正である 市民が地域の歴史や文化に触れることにより、改めて郷土に目を向け故郷の良さを再発見し愛着を持つよ うになった。 今年度の振り返り |まだ知られていない先人の多くおり、この先人たちの偉業を調査・掘り起こしをし、広く市民へ紹介する 機会を提供する。 次年度に向けて

4 JH7-	<b>マ</b> 1H2 丁皮											
事務事	業評価	<u>シート</u>		【事後評価】								
会計	款	項	目	事業コー	۲			事	業名			
01	10	05	06	104500	宮洲	<b>尺賢治普及</b>	・啓発事	業費				
総合	分野	03 人	べくり	政	策 05	芸術文化	の振興					
計画	施策	02	人の顕	彰								
目的				究・創作等の 発を図り、広					るととも	に、調査の	研究を行	ううこと
対象	市民、	観光客及	び全国の	の賢治研究者	・愛好者	等						
意図	の人と	作品に対	する理解	報の収集・提 解を深めてい	ただく。		がの交流に	こより、	賢治作品	や研究成り	果にふれ	い、賢治
事業概要	・定期・記修し、会員・宮沢画	大会、d 会・講座 間の情報 腎治賞・	├究発表: 延等の開付 設交流、↑ イーハ	トー げっかい できません いっぱい いっぱい かいいい いっぱい かいい かい か	ワム等の 協力 考、学会	開催 功労賞の選	きょう	定 905千円				
市民参有無		象外										
市民協	働の形態	共任		行委員会・持	協議会	事業協力	・協定		・協賛	補助・	助成	委託
				- TIC TIE								

	13///							_				
市	民協働の形	態	催	実行委員会・協議会	: 事	業協力	・協定	後担	爰・協賛		補助・助成	委託 委託
		-		活動指標			単位	区分	H31		R02	R03
1	企画展開作	崖回数					ı	計画	3.0	00	5.00	
'							回	実績	2.00		4.00	
2	賢治セミス	<b>経治セミナー開催回数</b>							5.00		5.00	
Ľ							回	実績	5.0	00	0.00	
3								計画				
3								実績				
				成果指標			単位	区分	H31		R02	R03
1	入館者数						_	目標	28,000.0	00	26,000.00	
'							人	実績	26,828.0	00	15,699.00	
	セミナーと	1席者数					1	目標	500.0	00	500.00	
2							人	実績	540.0	00	0.00	
2								目標				
3								実績				
	成果指標の達成度 目標値より高い						概ね目	標値どる	おり		目標値よ	り低い

成	果指標の	達成度の要因分析(成果指	標を設定しない場合は、その理由を記載)
	国的な新 響で激減		拡大により、セミナーを開催できないことに加え、入館者についてもその
	公共関	与の妥当性	学会は、市民からの提言をもとに、平成2年に「ふるさと創生事業」と
的	-	 当である	して設立されたものである。学会は、宮沢賢治の人と作品の普及に多大な
目的妥当性		 直し余地がある	寄与をしており、今後も学会が重要な役割を果たすものと思料されること
醒		 当でない	
	成果の	向上余地	興味・関心の深いセミナーや企画展等を実施し、広報、PRを充実するこ
有	向.	上余地がある	とにより、来館者数の減少を食い止め、セミナー出席者数の増加を図りた   
有効性	向.	上余地がない	
	- W	·	NA PAGE LIBRARY
차		・人件費の削減余地	│ 今までに市正職員の配置を無くし、学会職員に切り替えこの給与の補助 │ │をするなど事業費・人件費の削減に取り組み、最小限の経費と人員で実施 │
効率		業費の削減余地がある	していることから、削減できる余地はない。
性	H	件費の削減余地がある	
igdash	-	ちらも削減余地がない	ノーリー 一般を何ふり乗りが空を除する 東海原ムに関する鎌澤人
//		負担の適正化余地 *****なの日末しの地がまる	│ イーハトーブ館条例の設置目的等を踏まえ、宮沢賢治に関する講演会、│ │研究会等に使用するほか、市民の学術・文化の発展に寄与する事業に使用│
公平性		益機会の見直し余地がある 田色出の見声し会地がある	₫するなど、統一した取扱いをしている。また、目的以外使用の使用料の取 ┃
性		用負担の見直し余地がある エスキス	扱いを定め、統一的に運用している。 
$\vdash$		正である イールトーブ館に宮辺竪治に	 
	今年する	することにより宮沢腎治の情	- 関する図書・資料・論文等の情報が収集・保存・整理され、この情報を提 情報拠点として重要な役割が果たされた。 会等は開催できず、また、企画展についても予定していたものがすべて実施 いら、調査研究が深めることができなかったことに加え、賢治を学ぶ場の提
総合評価	返りの機能を	することにより宮沢賢治の情 また、企画展やセミナー、研	に関する図書・資料・論文等の情報を収集・保存・整理され、この情報を提 情報拠点として重要な役割を果たしていく。 研究会等を開催することにより調査研究を深め、賢治を学ぶ場の提供するこ 6多くの方々が来館され、賢治を学びながら、交流を深める。

生涯学習に利用した小中学校数/

成果指標の達成度

3

\$ MIZH													
	業評価	<u>シート</u>		【事後評価】							_		
会計	款	項	目	事業コード				事業名			成:	果指	標の達成度の要因分析(成
01	10	05	07	104530	新渡戸記念館の	企画展示	下事業費				.	入館	者数の推移   30年度   44-707   744   775
総合	分野	03 /	しづくり	政策	05 芸術文化	の振興						H:	28年度 14,707人(41人/日 29年度 13,118人(37人/日 30年度 12,805人(36人/日
計画	施策	02 분	た人の顕彰	彰	-							H:	30年度 12,805人(36人/日31年度 11,559人(32人/日
	新渡戸	家及び新	f渡戸家k	<b>∮かりの先人と</b> ⁻	その業績を紹介す	-る。						Ę R	31年度 11,559人(32人/E 2年度 5,356人(15人/E
目的													は新型コロナウイルス感染 学習に利用した小中学校は
	一般市	民及び県	見内外の額										
対象											늗	小	 共関与の妥当性
	江戸時	<b>代以降</b> 0	D花类器	異に貢献した新	度戸家や新渡戸稲	浩を題	音/・幻イ	トー 花巻の	歴史の一端	を市民に触		1	妥当である
意図					を P R する機会と		キノ ベロノ		加火(7) 圳	にいてには	目的妥当性		見直し余地がある
	4+ 00		<u> </u>								醒		妥当でない
	特別  ・常	展の開作 設展とは	≝ 1,155 は別に、st	ロード 年間を通して特別	削展を3回開催し	た。						成	 果の向上余地
				教育普及事業 7							有効		向上余地がある
事業	・市	内だけて	でなく市外	外の学校にも出	前講座を開催した	-0					処		向上余地がない
事業概要					高齢者学級や女性 数室」を開催した		活用して	ていただくよ	うにした。				
		コム・ロー	(C)		A.エリで   西座 U / C	-0					\ .		業費・人件費の削減余地
											効率		事業費の削減余地がある
											性		人件費の削減余地がある
市民参	·画の "											<u> </u>	どちらも削減余地がない
有無											,,	1	益と負担の適正化余地
市民協信	働の形態	共	催	[行委員会・協議	会事業協力	・協定	後	援・協賛	補助・助成	支託 委託	公平性	_	受益機会の見直し余地があ
			活動	指標		単位	区分	H31	R02	R03	性	_	費用負担の見直し余地があ
行事	開催数						計画	10.00	10.00		$\vdash$	$\vdash$	適正である   市民に地域の歴史や文化を
							実績	10.00	7.00				展示し、郷土の歴史や先人
							計画					年度	しかし、コロナウイルスの
2							実績					lσ	
							計画					振	
3							実績					               	
$\vdash$			成里	 !指標		単位	区分	H31	R02	R03	総	נין	
入館	者数		173.75	-11 in		<u> </u>	目標	20,000.00			総合評	$\vdash$	明約00周左訂念左声!! -
14 [ `"						1	H 135	1 -0,000.00	20,000.00		1 群	1	開館30周年記念行事として

実績

目標

実績

目標 実績

概ね目標値どおり

%

市内小中学校数

目標値より高い

5,356.00

27.00

36.00

目標値より低い

11,559.00

27.00

20.00

成身	果指標の達成度の要因分析(成果指	標を設定しない場合は、その理由を記載)
今年		影響で入館者は減少し、例年の半数以下となった。 7校前後。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で11校が利用した。
目的妥当性	公共関与の妥当性 妥当である 見直し余地がある 妥当でない	学校の教科書では中々習うことの少ない新渡戸氏やそのゆかりの先人に 知ることは、郷土の歴史に触れ地元愛を醸成するとともに、県内外の観光 客に対しても花巻市をアピールする効果もあり、市の業務とするのは至当 である。
有効性	成果の向上余地 向上余地がある 向上余地がない	平成3年に開館してから、市民の間においてはまだ十分に浸透していない状況が見受けられるので、周知の工夫やイベントを充実させればまだ向上する余地はあると思われる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある どちらも削減余地がない	休館日は年末年始のみという中、正職員2名(事務職と学芸員の各1名)、非常勤職員1名(館長)の体制で運営しており、これ以上の削減は困難である。
公平性	受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある 適正である	市内外を問わず入館者に対して、原則同一料金をいただいており公平である。 -
総合	┃ ▲ ┃展示し、郷土の歴史や先人の氵	・ 中するため、新田開発などで活躍した新渡戸氏や、新渡戸氏ゆかりの先人を 業績に対する理解を深めた。 響で定例となっている無料公開など3行事は開催できなかった。
総合評価	開館30周年記念行事として新 次 年 度 に 向 け て	度戸家と関わりのある人物についての特別講演会を開催する。

事務事業評価シート 【事後評価】

<u> </u>	伤争来計画ソート 【争後計画】									
会計							Ī	事業名		
01	10	05	07	104540	新渡戸記念館藝	整備事業	<b>養</b>			
総合計画	分野	03 人	、づくり	政策	05 芸術文化	の振興				
計画	施策		人の顕							
目的	新渡戸	家及び新	i渡戸家k	⊅かりの先人とそ	の業績を紹介す	る。				
対象	一般市	民及び県	内外の	観光客						
意図				展に貢献した新渡 観光客にも本市を			彰・紹介	ìし、花巻の	歴史の一端を	を市民に触
事業概要	参画の <sub>無</sub>									
市民参										
市民協	動の形態	共任		行委員会・協議会	事業協力			爰・協賛	補助・助成	
整備	事業実施	6件数	活 型	指標		単位	区分 計画	H31 1.00	R02	R03
1	- NOC 110	21120				件	実績	0.00	1.00	
$\vdash$							計画			
2							実績			
							計画			
3							実績			
			成果	指標		単位	区分	H31	R02	R03
1							目標			
$\sqcup$	実績									
2							目標			
$\vdash \vdash$							実績			
3							目標			
	日七畑の	* 本 代 中		日毎はよい言	.) [-]	₩₩₩□	実績 標値どる	bin I	<u> </u> 目標値よ	17年1、
カスラ	指標の	连队及		目標値より高い	, 1 -	気化を	信息して	おり  -	日信他よ	ソ版け

Ft E	出地	煙の達成度の悪国分析(成甲埃	漂を設定しない場合は、その理由を記載)
_		•	は達成できるため、成果指標は設定しない。
= [	<b>E</b> ℃	空補 9 ること ここの事業の息凶	よ连成 くさるため、 成未拍標は改定しない。
冒	公共	 共関与の妥当性	学校の教科書では中々習うことの少ない新渡戸氏やそのゆかりの先人に
目的妥当性		妥当である	知ることは、郷土の歴史に触れ地元愛を醸成するとともに、県内外の観光   客に対しても花巻市をアピールする効果もあり、市の業務とするのは至当
当		見直し余地がある	である。
性		妥当でない	
	成	果の向上余地	平成3年に開館してから、市民の間においてはまだ十分に浸透していな
有		向上余地がある	い状況が見受けられるので、周知の工夫やイベントを充実させればまだ向    上する余地はあると思われる。
有効性		向上余地がない	1 7 8 M 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	事	業費・人件費の削減余地	休館日は年末年始のみという中、正職員2名(事務職と学芸員の各1名
効率		事業費の削減余地がある	)、非常勤職員1名(館長)の体制で運営しており、ごれ以上の削減は困     難である。
性		人件費の削減余地がある	
		どちらも削減余地がない	
	受許	益と負担の適正化余地	市内外を問わず入館者に対して、原則同一料金をいただいており公平であ
公平性		受益機会の見直し余地がある	්රි. 
性		費用負担の見直し余地がある	
		適正である	
	今	び排煙窓の改修を行った。令利	整備された施設であり、整備後28年が経過している。平成30年度は屋根及 1元年度は空調機器及び配管等一式の更新をする予定であったが、今年度へ 2実施により、設備機能の保全・向上や施設の長寿命化が図られ、来館者の 1
	今年度の	繰り越された成した。 ヨ事業の  満足度が向上した。	)夫心により、以僧隊能の体土・凹上で心成の反方即10.7/2001で、小品日の   
	<b></b> の		
	振り		
	返り		
総	リリ		
総合評価		明約以本体のレイいる京広道本	
益		開館以米使用している高圧受役 	電設備(キュービクル)を更新する。 
	次		
	次年度に向		
	旧け		
	て		
		-	

3

2

入館者数

成果指標の達成度

成果指標

目標値より高い

事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コート	7			Ę	事業名			成
01	10	05	11	104640	高	村光太郎記念	念館企画	展示事	業費			) 
総合計画	分野	03 /	しづくり	政	(策 0	5 芸術文化	の振興					催っ
計画	施策	02 <del>5</del>	た人の顕	彰								
目的	高村光:	太郎の紅	召介									
対象	市民、	観光客										
意図	市民が 観光客	地域の歴 は、花巻	を史や文化 の先人を	化に触れるこ を理解するこ	とにより	り、郷土に誇 り再訪への足	りと愛 がかり	着を持つ となる。	りようになる	•		目的妥当性
事業概要	企i 期i 高村:	画展「高間」 ではいまではいます。 ではいまではいます。 ではいまではいます。 ではいまでは、これではいます。 では、これではいます。 では、これではいます。 では、これではいます。 では、これではいます。 では、これではいます。 では、これではいます。 では、これではいます。 では、これではいます。 では、これではいます。 では、これではいます。 では、これではいます。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	§村光太度 □ 2 年10) 己念館講』	企画展 1回 郭とホームス, 月 5 日 ~ 11月/ 座と企画展示 光雲の作品に	パン」 23日 1回	121千円	説と鑑	賞				有效性 対率性
市民参河												
市民協信	動の形態	共		行委員会・協	協議会	事業協力			爰・協賛	補助・助成		公平性
		- 1//	活動	1指標			単位	区分	H31	R02	R03	113
企画	展示の回	政						計画	1.00	2.00		
$\coprod$								実績	1.00	1.00		
2								計画				
								実績				

計画

実績

区分

目標

実績

目標

実績 目標 実績 概ね目標値どおり

H31

15,000.00

10,146.00

R02

15,000.00

6,207.00

目標値より低い

R03

単位

成界	見指	標の達成	支度の	要因	分析	f ( 成	<b></b> 发果指	標を	設定	しな	い場	合は、	その	D理由	を記	己載)							
4 催さった	こな	展につい ったが、	Nては アン	・ケー	1年県	関内が 特果に	トの来	館者と当	íから i該企	人気:画展	があ を常	るが、 設とし	コロ	コナウ	フィリ いなと	レス感ごの声	染症 毛多	の影く、	響も満足原	あり <sup>、</sup> 度は高	l 回 <i>の</i> 高いも	)みの[ 5のと <sup>7</sup>	一里ゴ
┢	公共	共関与σ	)妥当	性				先	 人の(	皇業で	を通し	市民	へ郷	土へ	の誇	りを	醸成で	するこ	ことは	市と	して	妥当で	
闘		妥当で						る。												. –			
目的妥当性		見直し	余地	があ	る			1															
性		妥当で	ない																				

数  -	向上余地がない	
効率	専業の心は合地がまる	職員の直営で行えるものは対応するなど、最低限のコストを考慮している。 簡易な事務については、非常勤職員で対応しているが専門知識を要する 業務が多いのでこれ以上の削減はできない。
性	人件費の削減余地がある どちらも削減余地がない	2011 20 100 CC 100 EC 100 111 11 11 11 CC 100 10

展示内容の充実を図ることにより、入館者が増加すると判断した。

L				l .
		受記	益と負担の適正化余地	入館料を徴収し、受益者負担としており公平である。
	公亚		受益機会の見直し余地がある	]
	件		費用負担の見直し余地がある	]

芸術家高村光太郎も愛した郷土に目を向け、故郷の良さを再発見し愛着を持つように努めた。 今年度の 振り り

成果の向上余地 向上余地がある

適正である

01

02

成果指標の達成度

 事務事業評価シート
 【事後評価】

 会計
 款
 項
 目
 事業コード

16

01

124620

目標値より高い

-		-	-								
総合	分野	03 人	づくり	政策	05	芸術文化	の振興				
計画	施策	02 先	人の顕彰								
目的	賢治さんの香りあふれるまちづくり 目的										
市民、観光客 対象											
意図	賢治や賢治の生誕地である花巻の魅力を感じている 意図										
事業概要	賢治のまちづくり推進事業 27,234千円 賢治を学ぶ場づくり 9,419千円 宮沢賢治賞・イーハトーブ賞、賢治セミナー、「賢治の世界」セミナー・ワークショップ、特別展 質治イベントの開催 15,457千円 宮沢賢治生誕祭全国俳句大会、賢治フェスティバル 賢治の香りあふれるまちの整備 237千円 賢治アートストリート事業、イギリス海岸リーフレット 賢治情報の発信 2,121千円 賢治カレンダー										
市民参画の 有無 対象外											
市民協	働の形態	共作	_	会・協議会	슰	事業協力		1,540	爰・協賛	補助・助成	
			活動指標				単位	区分	H31	R02	R03
t=	セミナー等開催数				回	計画	50.0	50.00			
							実績	36.0	0 27.00		
2								計画			
								実績			
3							計画				
					実績						
成果指標					単位	区分	H31	R02	R03		
	日常生活の中で宮沢賢治の作品や考え方に触れることがある と思う市民の割合				%	目標	68.0	61.00			
						実績	59.9	0 48.90			
2								目標			
4								実績			

実績 目標 実績

概ね目標値どおり

目標値より低い

賢治のまちづくり推進事業費

事業名

成果指標の達成度の要因分析(成果指標を設定しない場合は、その理由を記載) 平成26年度以降は概ね60%前後で推移してきたものの、前年度と比較して11%低下した。まちづくり市民アンケートに本項目が設けられて以降、これほどの減少は初めてのことであるが、要因として、感染症拡大の影響で賢治イベントの中止や縮小を余儀なくされたことにより、宮沢賢治に触れる機会があると感じた市民の割合が減少したものと思われる。	
ートに本項目が設けられて以降、これほどの減少は初めてのことであるが、要因として、感染症拡大の影響で賢 治イベントの中止や縮小を余儀なくされたことにより、宮沢賢治に触れる機会があると感じた市民の割合が減少	成果指標の達成度の要因分析(成果指標を設定しない場合は、その理由を記載)
	ートに本項目が設けられて以降、これほどの減少は初めてのことであるが、要因として、感染症拡大の影響で賢  治イベントの中止や縮小を余儀なくされたことにより、宮沢賢治に触れる機会があると感じた市民の割合が減少

	公共関与の妥当性	賢治について学び、賢治に触れる機会や場を提供することによって、。						
目的妥当性	妥当である	多くの市民や市外の方に賢治に興味を持ってもらうことにつながると考えられることから、市が積極的にイベント等の開催や環境整備、情報発信を 行う必要があると考えられる。						
安	見直し余地がある							
性	妥当でない							
	成果の向上余地	イベントの開催や環境整備、情報発信を行うことで賢治の作品や考え方に						
有効	向上余地がある	触れる機会が増大し、成果が向上すると考えられる。 						
2型	向上余地がない							
	事業費・人件費の削減余地	国、県等の補助を最大限に活用するとともにイベント等の開催では関						
効率	事業費の削減余地がある	体等の協働による実行委員会形式をとっており、削減余地はない。 						
性	人件費の削減余地がある							
	どちらも削減余地がない							
l	受益と負担の適正化余地	市内・市外ともに対象を広く設定しているため、受益機会と費用負担につ						
公平性	受益機会の見直し余地がある	いては公平と考えられる。 						
性	費用負担の見直し余地がある							
	適正である							
総合評		民や観光客が賢治に触れられる機会を創出するため、感染症の影響を考慮した。また、賢治を学ぶ場づくりを進めるとともに、内外へ向けて積極的に賢 経治さんの香りあふれるまち」への醸成が図られた。						
評価	特にも賢治イベントの開催が見努めることとし、併せて賢治を次年度に向けて	感染症の影響を大きく受けるものの、対策を講じながら可能な範囲で開催に E学ぶ場の提供や賢治情報の発信を継続する。						